

講演テーマ 「連載記事「ホビーハウス」のこれまでとこれから」

(月刊技術雑誌「O plus E」Optics + Electronics 光エレクトロニクス/画像工学/レーザー技術 に連載中)

- 日時 2019年6月19日(水)
- 場所 コリサーチ株式会社 新中野コリサーチビル地下ホール
- 参加人数 11名
- 担当幹事 仲渡英生

第363回オプトフォーラムは、映像技術史研究家 鏡 惟史先生(桑山哲郎氏)をお迎えして、連載記事「ホビーハウス」のこれまでとこれから(月刊技術雑誌「O plus E」に連載中)と題してご講演頂きました。先生の連載に至った経緯、目的、内容などをお話いただきました。また、現在千葉大学で講義されている錯視に関するお話を多くのサンプルをお持ちいただき、ご講演いただきました。

画像を構成する5要素や目と視覚に関する不確かな知識のご説明、サンプルのデモを通して人間の視覚の不正確さ、不思議さ、「え、何で?」というアハ体験をさせていただきました。体験型の不思議で楽しいご講演でした。

また、会場そばの「扇や」で懇親会を行いました。そもそも「見える」というのは、どういうことなのか? 視覚と光学の関係は? など面白い議論で盛り上がりました。

最後に、ご講演いただきました鏡 惟史先生に篤くお礼申し上げます。



【鏡 惟史様】(本名は桑山 哲郎様)

映像技術史研究家

月刊誌「O plus E」連載中の『ホビーハウス』をペンネーム鏡惟史として1983年10月以来35年にわたりほぼ毎月執筆を続けられている。

メールアドレス

<t-kagami@fa.catv-yokohama.ne.jp>

奥行き反転錯視物体チェッカーボード塗り分けの立方体。画像ファイルは

http://www.spstj.org/item/img/1398597486_gallery.gif

http://www.spstj.org/gallery/detail_395.html

北岡明佳 教授による屏風折りの奥行き反転錯視物体。画像ファイルは

<http://www.psy.ritsumei.ac.jp/~akitaoka/reverspectivesimpleE.jpg>

<http://www.psy.ritsumei.ac.jp/~akitaoka/reverspective.html>

北岡明佳 教授による「トゲトゲドリフト錯視」

<http://www.psy.ritsumei.ac.jp/~akitaoka/togetogedrifillusion.html>



懇親会「扇や」

